

事業番号	事務事業名	無形民俗文化財補助金	所管課名	生涯学習課	令和 3 年度課長名	黒瀬 豊
06493	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	文化財係	担当者・シート作成者	平田 誠
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町無形文化財保存継承事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内の指定無形民俗文化財(布施神社お田植祭・新町の地蔵踊り・羽出神社のお田植祭)の活動に補助金を交付する。 補助金申請書の受理・交付決定、実績報告書の受理、交付決定、補助金の交付。 令和3年度は新町地蔵踊り保存会に対し補助を行った。	少子高齢化や過疎化による人口減少や近年のコロナ禍により開催が困難となっている町内の指定無形文化財の保存活動を支援し、後世に残していくため、活動費の一部を補助する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	町内の指定無形民俗文化財	→	ア	件	見込	3	3	3	3	3
					実績	3	3	3		
イ		→	イ	団体	見込	3	3	3	3	3
					実績	3	3	3		
ウ		→	ウ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	無形民俗文化財が後世に伝えられるような活動を行う	→	ア	人	目標	500	500	500	500	500
					実績	500	30	30		
					達成率	100.0%	6.0%	6.0%		6.0%
イ		→	イ	人	目標	350	350	350	350	350
					実績	350	15	22		
					達成率	100.0%	4.3%	6.3%		6.3%
ウ		→	ウ	人	目標	100	100	100	100	100
					実績	100	15	15		
					達成率	100.0%	15.0%	15.0%		15.0%

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	布施神社お田植祭の開催	→	ア	回	目標	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	地蔵踊りの開催	→	イ	回	目標	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ	羽出神社お田植祭の開催	→	ウ	回	目標	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費		無形民俗文化財補助金					
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源			120	120	120	一般財源			30	120	120	30		
合計			120	120	120	合計(A)			30	120	120	30		
財源名称	従事正職員人数								1	2	2	1		
	延べ業務事務時間								6	30	30	6		
	人件費計(千円)(B)								20	103	103	20		
	最終予算額		120 千円	予算執行率		25.0%	トータルコスト(A+B)			50	223	223	50	
主な 支出事業内容 (予 算)	補助金					120 千円	主な 支出事業内容 (決 算)	補助金					30 千円	

事業番号	06493	事務事業名	無形民俗文化財補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
令和3年度も昨年同様新型コロナウイルス感染症予防のため最小人員で遂行された。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助金の支払いに関する事務のみであるため、改善するほどの事務量はない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
今後も引き続き補助を行ってほしいという要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 文化財指定されている伝統文化の保存活動への補助であり、地域文化の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町指定無形文化財への活動補助であり、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 無形民俗文化財の継承活動に対しての補助制度であるため妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 地域住民により継承されている行事であり、現行のままでよい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 鏡野町を代表する伝統文化であり、保存活動に少なからず影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 地域住民により継承されている行事であり、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金は事業費の一部であるが、補助金としては最低限の補助額で、削減の余地はないと思われる。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 職員の業務は補助金の支払い事務程度であり、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 伝統文化保存のための活動費の一部助成であり、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																								
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	昨年度に続き、最小人員での実施となったが、活動をやめてはならないという熱意は痛いほど伝わっている。																								
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																								
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 特になし	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																										
特になし		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																								